

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成26年6月23日

施設名	人権啓発センター	所管課	文化生活部人権課
------------	----------	------------	----------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県人権啓発センター	指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日
施設所在地	高知市本町4丁目1番37号		
事業内容	1.施設利用に関する業務 ・施設利用の許可等 ・施設利用の許可の取消し等その他の利用の許可に関する業務 (施設：ホール、視聴覚室、図書資料室兼閲覧室) 2.ホール使用料の徴収に関する業務 3.施設および設備の維持・管理 清掃、警備、電気、設備の保守点検等		
施設内容	面積：丸ノ内ビル(3,453.4㎡)内4F～6F(1,443.81㎡) 施設：4F 視聴覚室(定員48人)(利用前日までに申請) 5F 図書資料室兼閲覧室 6F ホール(定員270名)(利用10日前までに申請) 開館時間：9:00～17:00 休館日：土、日、祝祭日及び年末年始		
職員体制	常勤職員：7人 非常勤職員：5人 臨時職員：1人 合計：13人 「職員数はH25年4月1日現在」		

2 収支の状況

単位：千円

		24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)
収入	県支出金	10,516	10,428	11,277
	使用料・手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	収入計 (a)	10,516	10,428	11,277
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	10,203	10,120	10,941
	人件費	313	308	336
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	10,516	10,428	11,277
収支差額 (a)－(b)		0	0	0

3 利用状況

	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	18,492	17,677	18,000
②利用者意見等の反映	○利用者要望等は直接受け、対応している。 ○6階ホールの避難誘導灯不調への対応		

4 平成25年度業務評価

項目	状況説明																
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> 基本協定書に基づき適正に管理運営されている。 消防計画による消防訓練を実施している。平成25年度は、平成25年10月に実施。 個人情報の保護については、(公財)高知県人権啓発センター個人情報保護要綱等を設けるとともに、これに基づき適正に執行している。 再生紙購入等「高知県グリーン購入基本方針」に基づく環境物品購入を実施している。 片面使用コピー用紙の裏面を使用するなど経費削減に努めている。 平成23年度から「高知県庁環境マネジメントシステム」に取り組んでいる。 地震対策マニュアルを、ビルの管理者である(社福)高知県社会福祉協議会と協議し、平成24年9月に作成。 																
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度からAEDを設置、職員は「救命救急講習」を受講し救命救急の知識や技術、AED操作を習得しており、センター利用者の緊急時に対応できるよう努めている。 また、日々の点検確認やAEDの電池交換も行われている。 ホール利用についてはホームページ上に申請書や予約状況を掲載。予約状況については随時更新するなど利用者へのサービスが窺える。 会場を定期的に利用している団体が複数あり、利用者サービスが維持出来ているものと思われる。 																
③利用実績	利用人員(利用回数)の年度推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6Fホール</td> <td>19,870人(158回)</td> <td>16,957人(130回)</td> <td>15,904人(126回)</td> </tr> <tr> <td>視聴覚室</td> <td>673人(30回)</td> <td>975人(41回)</td> <td>1,252人(54回)</td> </tr> <tr> <td>ライブラリー</td> <td>520人</td> <td>560人</td> <td>521人</td> </tr> </tbody> </table> 視聴覚室は年々利用者増となり、利用案内等の成果が見られる。 6Fホールの利用人員の減少は、大きな会合の利用が減少したことが影響している。		平成23年度	平成24年度	平成25年度	6Fホール	19,870人(158回)	16,957人(130回)	15,904人(126回)	視聴覚室	673人(30回)	975人(41回)	1,252人(54回)	ライブラリー	520人	560人	521人
	平成23年度	平成24年度	平成25年度														
6Fホール	19,870人(158回)	16,957人(130回)	15,904人(126回)														
視聴覚室	673人(30回)	975人(41回)	1,252人(54回)														
ライブラリー	520人	560人	521人														
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> 昨年と比較して88千円支出が減少している。支出金額減少の主な原因は県社協への負担金(共有部分建物修繕費)が減少したことによる。 県より収納委託を受けている施設使用料については、ホール利用の減少に伴い、昨年と比較して77千円の減収となっている。(ホール使用料:平成23年度2,843千円、平成24年度2,402千円、平成25年度2,325千円) 																
総合評価	B <ul style="list-style-type: none"> 施設利用者(回)数については視聴覚室、ライブラリーにおいては効果的、効率的な広告の継続により一定数が保たれたが、ホールについては、新たな利用者の開拓が必要である。 施設管理においては丸ノ内ビルの管理者である(社福)高知県社会福祉協議会と連携をとりながら、仕様書どおりの業務が遂行された。 経理状況については、高圧気中負荷開閉器の取替、エレベーターメインインバートユニット取替など、大規模な修繕等が発生し、共有部分の建物修繕費は出費増となった。 利用者へのサービスについては、要望等はセンター職員等に直接対面で行われてきており、センターは要望等に速やかに対応する体制をとっている。平成25年度からは、意見箱を設置し、いただいた意見により、ワイヤレスマイクの周波数変更や避難誘導灯不調への対応等を行っている。 以上のことから、おおむね仕様書の内容どおりに適正な管理が行われたと認められる。																

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの